



雪若丸出陣！
乞うご期待！

二度にわたる豪雨、各地に甚大な被害

8月5日（日）及び8月30日（木）、2度にわたる豪雨により、最上地域では甚大な被害が発生しました。最上地区全体では22戸が床上浸水の被害に遭い、特に、戸沢村蔵岡地区では、全域が1か月の間に2度にわたり浸水被害を受けました。

この豪雨災害をうけ、8月8日（水）及び9月2日（日）に、吉村知事が急遽災害現場を確認して上京し、政府に対して激甚災害の指定、道路・河川への復旧支援の要請や農地被害への支援を要請しました。



最上地域での主な被害状況は以下のとおりです。

- ・床上浸水：34棟、床下浸水：383棟、非住家浸水：99棟
- ・道路（市町村道、県道、国道）の被害：219件
- ・土砂災害：12件
- ・断水による影響：357世帯
- ・農作物・家畜等被害額：約10億6000万円
- ・農地・農業用施設・森林関係被害額：約39億6000万円



最上総合支庁では、8月31日（金）に最上地域大雨災害対策本部を設置し、災害復旧に向け全庁的な対応で、被災箇所の仮復旧工事や測量設計などに尽力しております。一日も早い復旧に努めてまいります。



第1回最上地域大雨災害対策本部会議

第1回最上小国川鮎釣り甲子園大会の開催

8月5日（日）に舟形町の最上小国川一の関大橋付近で最上小国川鮎釣り甲子園大会を初めて開催しました。この大会は、最上小国川の豊かな自然の魅力と鮎釣りの文化を多くの高校生に体感し、ふるさとへの愛着を持ってもらうことを目的として最上小国川清流未来振興機構（事務局：県、舟形町、最上町、小国川漁協）が今年初めて開催したものです。

最上地域を中心に県内全域、宮城県、岩手県から、58名が参加しました。高校生たちは、地元の釣り愛好家から指導を受けながら制限時間内に鮎を何匹釣り上げられるかを競い合いました。競技終了後、検量の結果、17匹鮎を釣りあげた宮城県 東北学院榴ヶ岡高等学校 菅井祐樹さんが第1位、12匹の新庄東高等学校 荒木美瑞樹さんが第2位、11匹の日大山形高等学校 安部文翔さんが第3位となりました。おめでとうございます！



連携支援室 29-1240



子ども知事室開催！

8月8日（水）、山形県庁で「子ども知事室」が実施されました。山形の未来を担う子ども達が吉村知事との交流や「一日知事」を体験することによって、県の仕事に関心を持ち「ふるさと山形」に対する理解を深めました。



最上地域からは、小学校5、6年生の児童が3名参加し、子育て推進部長から一日知事の辞令を受けました。吉村知事も、最上地域の災害現場視察から駆け付け、参加児童と会談しました。参加児童からは、「県ではどのような仕事をしているのですか。私たちが県のためにどのようなことができるのか教えてほしい」、「地震などの災害対策や、子どもたちが安全安心して暮らせる山形県にするために、どのようなことをしているのですか」など、子ども達からたくさんの質問があり、吉村知事に代わって会談に出席した子育て推進部長から一つ一つ丁寧に答えていただきました。その後、山形市みのりが丘の農業総合研究センターを見学し、本県の先進的な農業技術について学びました。

総務課 29-1360

SHINJO・MOGAMI ジモト大学

なりたいオトナになる！
働き方・暮らし方をデザインしてみよう

7月30日(月)に新庄市民プラザにて、SHINJO・MOGAMI ジモト大学のプログラムとして、最上地域で仕事や地域活動で活躍している女性3名を講師に迎え、地域で働くためにどんな努力・工夫があったかなどの体験談を聞きながら働き方や暮らし方を学ぶ講座を開催しました。

参加者からは、「視点を変えるだけで地域の良いところが見えてくる。」「やりたいことが最上地域になかったら、自分で作れば良かった。」などの声がありました。



子ども家庭支援課 29-1245

SHINJO・MOGAMI ジモト大学

しごトーーーク ～理工系学部大学に進んだその先は～

7月31日(火)、8月7日(火)にSHINJO・MOGAMI ジモト大学のプログラムとして、「しごトーーーク ～理工学部大学に進んだその先は～」を開催しました。

理工系学部大学への進学志望者や、興味がある新庄北高、新庄神室産業高、新庄東高の男子生徒10名が参加しました。

地元製造業の企業の協力のもと、2日間にわたり、企業見学、技術者へのインタビューや先輩従業員とのワークショップを通じて、大学卒業後の就職を

見据えて今から何をすべきかを考えました。

最後には、協力企業の担当者に「もし自分が就職したらこんなものを作りたい」という提案を行いました。



地域産業経済課 29-1306

しごトーーーク ～教員の地元事業所見学会～

7月30日(月)、新庄・最上管内の中学校等の教員を対象に地元事業所をもっと知ってもらうための見学会を開催しました。



キャリア教育や職場体験など、近年、学校と企業との結びつきが重要となってきたことから、最上総合支庁では、教員の方たちに地元事業所を訪問してもらい、企業とのマッチングを行っています。今回は、製造業「キリウ山形」、建設業「沼田建設」、福祉「みどりの大地」の工場・現場の見学や若手従業員との意見交換を行い、業界の最近の事情、最新の技術・製品を学びました。また企業の担当者とのワークショップを行い、「よりよい職場体験」をテーマに、学校と企業との連携策などについて検討しました。

地域産業経済課 29-1306

「最上地域出身の看護学生と高校生との交流会」を開催しました

8月8日（水）に、医療職を目指す高校生のモチベーションアップと、地元出身看護学生が地域とつながる機会を設け、最上地域の看護師確保に結び付けることを目的に、交流会を開催しました8月7日～8日にかけて行われた最上地域保健医療対策協議会主催の「地域医療研修会（看護学生研修）」に合わせて実施しました。

昼食を摂りながらの交流会は終始和やかな雰囲気で行われ、参加した高校生からは、「学校以外でどのくらい勉強しているか」、「課題はどのくらい出されるのか」、「なぜ今の学校を選んだのか」、「奨学金を借りているか」など、気になっていることについて質問があり、看護学生一人ひとりから丁寧に回答していただきました。

また、交流会終了後、会場となった県立新庄病院にご協力いただき、参加した高校生を対象に、リハビリ部門、検査棟、各病棟などを見学させていただきました。

保健企画課 29-1256



「もがみ介護フェア」が開催されました

8月5日（日）に、新庄コアカレッジの主催（もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会共催）で、最上広域交流センターゆめりあを会場に「もがみ介護フェア」が開かれ、地元の高校生や一般の方など約100人が参加しました。このイベントは介護人材の確保が地域の課題となっている中、介護の仕事の魅力を発信し、将来の人材確保につなげることを目的として開催されました。

始めに、新庄コアカレッジ介護福祉科の北川教務主任が「介護福祉士養成教育の歩みと今後」と題して、介護福祉士の不足の現状や仕事の魅力などについて講演されました。続いて、介護現場の声として介護福祉士2名が仕事のやりがい等の発表を行ったほか、同校の学生による介護技術のデモンストレーションが行われ、参加者は興味を持って見学していました。

また、会場では、進学、求人相談、施設紹介、車いすの介護体験などのブースが設置され、参加した高校生からは、「もがみの介護に対する情熱が伝わった」「介護福祉士になって人の役に立ちたいと思った」といった感想が寄せられました。

地域保健福祉課 29-1276



升形川灯籠流しでがん検診受診等を啓発しました



7月28日（土）に「升形川に親しむ会」が主催する第25回升形川灯籠流しが行われました。最上保健所では同会の協力により、胃がんと糖尿病予防のシンボルカラーであるブルー系の灯籠を450個作成し、地域住民の方から健康に関する願いを書いていたいただきました。

最上地域は全国でも胃がん死亡率が高いことや糖尿病が多いことが課題となっており、平成25年から毎年、このイベントを通してがん検診・健康診断の受診向上等について啓発活動を行っています。

当日は台風による雨も心配されましたが、幸い天候にも恵まれ、たくさんの方が訪れ、1800個の灯籠に祈りを込めて夕暮れの川面に流しました。



地域保健福祉課 29-1267

美食広場 ~AMAZING MOGAMI~

8月24日(金)・25日(土)、きらやか銀行新庄支店駐車場において、「美食広場~AMAZINGMOGAMI~」を開催し、新庄まつりに訪れた多くの観光客に、最上地域の美味しい食を楽しんでいただきました。会場では伝承野菜の



畑なす焼きやとりもつバーガー、鮎の塩焼き、米の娘豚しゃうまい、前森高原のソーセージ、真室川梅アイス、大蔵わさびそばなどが飛ぶように売れました。

また、美食広場は、最上・庄内観光スポットスタンプラリーのスペシャルスポットになっているため、スタンプの台紙を片手に多くの方が観光ブースを訪れました。

さらに、新庄まつりと同じくユネスコ無形文化遺産に登録された33の祭りのうち、岐阜県大垣市や飛騨市からの出店もあつたり、山形大学の学生のみなさんが企画した「隈取り体験」コーナーが設置されたりと、大いに盛り上がった2日間でした。 観光振興室 29-1312



台湾の旅行会社を招いて意見交換会を開催しました

8月20日(月)、台湾の旅行会社の商品企画担当者等(旅行会社6社、ランドオペレーター1社)を招へいし、最上地域の視察及び観光関係者との意見交換会が開催されました。

意見交換会では、最上総合支庁より、雪を利用したイベントや伝統的なまつりなど、アメージングな最上地域の観光PRを行った後、参加した台湾の旅行会社の方々と、東北地域への商品造成の取組みについて意見交換が行われました。今後、台湾から最上地域に訪れる旅行者が増えることが期待されています。

なお、今回の招へいは最上川交通が企画したもので、赤倉温泉、赤倉スキー場、前森高原、舟下り、シェーネスハイム金山、金山の街並み、新庄ふるさと歴史センター、新庄まつり山車制作現場などの視察も行われました。 観光振興室 29-1311



平成30年度第2回「若手ねぎ研究会」栽培研修会を開催

8月20日(月)、最上地域の20~40歳代の若手生産者16名で組織している「若手ねぎ研究会」では、会員の基礎知識及び技術向上を目的とし、第2回目の研修会を開催しました。

今回の研修テーマは「土寄せ作業のポイントと技術の向上」。

高品質なねぎを生産するためのポイントは、生育期間中に何度も実施する土寄せ作業です。今回は、メーカーの協力により、ベテラン農家の実演で土寄せ技術を徹底的に学びました。

また、普及課職員が「ねぎの収穫・調整作業の機械化の現状」について情報提供、全国のねぎ産地の現状や機械開発について検討しました。

若手生産者も着実に実力をつけており、今年度のねぎ生産が楽しみです。

農業技術普及課 29-1333



そば条播播種実演会を開催

最上地域は、県内そば栽培面積のうち約3割を占めるそば産地です。一方で、そばの単収は伸び悩み、特に平坦部では県平均を下回る年が続いています。単収が低い原因として、散播(バラ播き)が主体で成熟期が揃いにくいことや倒伏してしまうことがあります。

そこで、8月1日(水)、新庄市泉田地区の圃場を会場に「条播播種実演会」を開催しました。今回、当地区では初めて(普及課調べ)となる条播(すじ播き)播種を実演し、品質や収量が向上するか実証することにしました。

そばは、水田を活用できる土地利用型作物として重要な作物です。普及課では、こうした取組みを通じて、土地利用型作物の生産性向上に向けた各生産組織の活動を支援していきます。

農業技術普及課 29-1330



お知らせ

お肉はしっかり加熱して食べましょう！

9月は食肉衛生月間です。鶏肉や牛肉、豚肉などの食肉にはカンピロバクターや腸管出血性大腸菌 0157 など少量の菌数で発症する菌が付着しています。これら食肉を十分に加熱しないで食べると食中毒を引き起こす可能性が高くなりますので気をつけましょう。

〈予防のためのポイント〉

- ◇**しっかり加熱したことを目で確認する（中心温度75℃で1分以上、中まで食肉の色が変わるのが目安）**
- ◇**生肉の処理に使用した包丁、まな板、箸などはよく洗い、熱湯などで消毒する**
- ◇**調理時は生肉を他の食材に触れさせない**
- ◇**生肉を調理した後はしっかり手洗いでする**

保健企画課生活衛生室 29-1260

東北の「へそ」三県交流まつり開催

東北のへそ地域（宮城県大崎地域・秋田県雄勝地域・山形県最上地域）の特産品の展示販売や郷土芸能を披露します。ぜひ遊びに来てください！

日時：9月11日（火）～12日（水）

午前10時～午後4時

場所：仙台市勾当台公園市民広場

東北のへそ名物発見スタンプラリー開催中

東北のへそ地域の「ベーカリー・カフェ・麺・イチオシ」のお店を巡りスタンプ3個集めて応募しよう！豪華賞品が当たります！

期間：8月8日（水）～11月30日（金）

観光振興室 29-1312

「9月10日～16日は『自殺予防週間』です」

9月10日の世界自殺予防デーにあわせ、16日までの1週間は自殺予防週間とされております。

自殺対策の推進には一人ひとりが自殺に対する偏見をなくし、正しい知識を持つことが必要です。

最上総合支庁正面玄関ロビーにパネル等の展示を行います。この機会にぜひお立ち寄りください。

地域保健福祉課 29-1266

第4回県立新庄病院健康まつり

「仁・愛・和～めざせ健康100歳!! 見つめよう自分のからだ～」

【日時】9月9日（日）10:00～13:00

【場所】県立新庄病院

【内容】まちの保健室、血管年齢測定、ちびっこドクター・ナース体験、おもしろCT・透析体験など、体験型イベントが多数あります。ぜひご参加ください！ 保健企画課 29-1256

高坂ダムの流木を無償で提供します。

【日時】9月14日（金）9:30分～

・9時15分から現地で整理券を配布します。
（なくなり次第終了）

【場所】高坂ダム管理課庁舎裏の広場

【内容】①先着30名 ②1名あたり軽トラック1台分程度 ③流木を30～70cmに小割していただきます。

提供の条件がございますので、詳しくは県ホームページをご覧ください。高坂ダム管理課へお問合せください。
高坂ダム管理課 63-2344

「～H30みんないっしょ～ 親子でスポーツ」

（主催：最上地域みんなで子育て応援団）

日時：10月13日（土）9:30～12:00

場所：新庄市体育館

内容：軽スポーツや親子ヨガを親子で楽しく体験できます。

※要事前申込み 9月21日（金）まで

子ども家庭支援課 29-1245

《平成30年9月最上管内献血日程》

9月4日（火）沼田建設（株）・新庄市役所

9月21日（金）金山町役場・金山コネクタ（株）

詳細な時間等は保健企画課へお問い合わせください。皆様のご協力をお願いします。

保健企画課 29-1258

発行日：平成30年9月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)

Twitter

